

## 議会報告会 座談会で寄せられたご意見

※ ―― は議会からの回答

【まちづくり協議会・コミュニティ】	町からの回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり協議会をなぜテーマにしたのか</li> <li>・市の紹介ではなく、参考になる町の紹介を</li> <li>・まちづくり協議会はなぜできないか。行政や議会が積極的に関わって進める。</li> <li>・まちづくり協議会が自治会の代わりになるものではない。</li> <li>・自治会より広域でまちづくりに取り組む。自治連で今までできていなかった？</li> <li>・自治会の問題解決は、協議会をつくってすぐに解決できるわけではない。</li> <li>・まちづくり協議会など、役員にやらされ感がある。ボランティアなど自主的にやっている活動のように、自らやりたいと思うようにしていけないか</li> <li>・自治会の運営は構成員が元気なうちに10年先の準備を。次のステップへつなぐ必要。</li> <li>・高齢者と、子ども、若い人たちを区切らず1つになって取り組む。</li> <li>・行政と自治会のコミュニケーションが大切。</li> <li>・新住民と旧住民の交流がうまくいっていないのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第8回議会報告会 第1部「町政トピック(まちづくり協議会)」の「第1部発表資料(PDF)」にまちづくり協議会の役割やイメージを掲載しています。</li> <li>・人口減少・少子高齢化が進む中、住民が地域の課題解決の担い手となるよう、協働を進めるための仕組みづくりが必要です。王寺町では参画と協働のまちづくり推進のための基本ルールとして、令和3年4月に「王寺町まちづくり基本条例」を施行しました。この条例に、住み良い地域の実現に向け課題を解決していくための新たな組織として「まちづくり協議会」を条文化しました。</li> <li>・町民に最も身近な団体として中心的な役割を担ってきた自治会はクリーンキャンペーンや防災活動など多岐にわたる活動を担っており、身近な地域でお互いに助け合い支え合う地域コミュニティの基盤組織です。しかし、近年、自治会の役員の高齢化や担い手不足により、全ての地域課題を自治会が解決していくことが難しくなってきました。</li> <li>・まちづくり協議会では、自治会はその中核を担うこととなりますが、まちを良くしたい様々な人が集まり、みんなで協力することによって、今まで取り組めなかったことにも取り組めます。</li> <li>・早急にまちづくり協議会を作っても当事者意識のない、やらされ感があれば組織は機能しません。そこで、王寺町では、「まちづくり協議会」の設立に向けて、地域の課題や先進地事例研究をテーマとした町民ワークショップを令和4年度より6回開催してきました。回を重ねるにつれて、関心をもっていた方などを中心に、設立に向けての機運も高まりつつあることから、現在令和7年4月の設立を目標に、本町地区をモデル地区として重点的に設立に向けた支援を行われています。</li> </ul> <p>このことを多くの住民の皆様にご覧いただき、まちづくりに参画いただけるよう、今回、議会報告会のテーマとしました。</p>

【王寺駅北まちづくり(久度地区)】	町からの回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・久度地域の開発について</li> <li>・中央公民館跡地は</li> <li>・中央公民館の解体後の進捗状況について</li> <li>・中央公民館建設暫定期間2～3年のマスタープランはできているか</li> </ul>	<p>・王寺町では、王寺駅北側のまちづくりについては、「王寺駅北地区まちづくりワークショップ」や、有識者等からの意見を聴取する「王寺駅周辺再整備推進会議」、地区の代表者と意見交換する「久度地区分科会」を開催し、令和4年6月に「王寺駅周辺地区(駅北エリア)まちづくり基本計画」を策定されました。取組の方向性は「道路整備や土地利用の誘導による防災機能の強化」、「中央公民館跡地等の活用によるにぎわいの創出」、「官民連携によるまちづくりの促進」の3つで、現在、この計画を基に事業を進められています。町公式サイト:【町計画】駅北エリアまちづくり基本計画 (PDF)参照</p> <p>・駅北エリアは、火災等で緊急車両が容易に通行できない狭い道路が多いことから、令和5年度は久度地域の道路拡幅計画案を作成されました。今後、道路計画の説明会などを開催し、住民の皆さんの意見もふまえ、久度地区の道路網を検討していくとのことです。</p> <p>・「中央公民館解体工事」は令和6年3月末で完了しました。跡地については、暫定活用として防災空間を兼ねた広場整備を予定しており、人工芝で舗装し休憩スペースを設け、様々なイベント等が行えるよう電気や水道も備えたコミュニティ空間の整備に加えて、地震、災害時にも飲料水を提供できる耐震性貯水槽の設置も行います。この広場の暫定活用は民間活力による本整備が始まるまでの間で、今後、民間活力の導入に向けた検討を進めていくとのことです。</p>
【王寺駅南まちづくり(南駅前)】	町からの回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・西和医療センターについて</li> <li>・バス停の看板をなくして展示場所、大きなトイレ</li> </ul>	<p>・王寺駅南側については令和6年1月5日の広報おうじ「王伸」特別号のとおり、「西和医療センターの王寺駅周辺への移転計画」が令和5年12月に県により事業見直しと発表されたために、駅南側のまちづくりについては計画を白紙に戻さざるを得なくなりました。令和5年1月から、有識者や交通事業者、地元代表、国や県の行政機関から構成する「王寺駅周辺再整備推進会議」により、病院を核とした王寺駅南駅前広場のあり方について様々な議論をされていた中でしたが、病院移転が事業見直しとなったことから整備方針についても見直しされることになりました。</p> <p>・王寺駅南エリアは、昭和47年から61年にかけて実施した王寺駅南区画整理事業から約半世紀を迎えようとしていることから、今後は駅前広場を中心に時代のニーズに合った西和地域の中核としてのまちづくりを検討するため、地域にお住まいの方や事業者の方を含めた意見交換会を行い、整備方針を検討していくとのことです。</p>

【道路関係】	町からの回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・葛下1・2丁目にかかる橋の工事は1年以上かかっているが、いつ完成か</li>   <li>・舟戸1丁目の大和川堤防に道を作るのはいつ実現するか</li>   <li>・バリアフリーのまちづくり</li> <li>・車を所有していない。歩道が狭く斜めになっており車イスが通りにくい。</li> <li>・歩道の整備</li> <li>・ガードレールの端をゴムに改善</li> <li>・健民グラウンド両側の道路の清掃</li> <li>・私道で困る。</li> <li>・一方通行 看板の位置</li> </ul>	<p>・県の治水対策工事として葛下川のJR和歌山線鉄橋から上流約200m付近までの河川改修未整備区間の整備を進めているもので、令和4年5月に工事に支障となる前田橋架替え工事の仮橋架設が完成した後、令和5年7月には新設の橋台が完成し、9月から橋梁上部の新設工事に着手されており、令和6年度中に新しい橋が完成する予定です。なお、新橋完成後、河道拡幅工事に着手され、令和11年度の完了に向けて計画的に工事を進められるとのこと。</p> <p>・令和6年2月に策定した王寺町後期基本計画の具体的施策11 道路において「久度地区や舟戸地区の住宅密集地は道路が狭隘で災害発生時等に緊急車両の進入が困難な状態であるため、計画的に道路整備を行っていく必要がある。令和4年6月に策定した「王寺駅周辺地区(駅北エリア)まちづくり基本計画」に基づき、防災機能の強化等を目的とした道路整備を行う必要がある。」と課題を記されています。</p> <p>・舟戸1丁目の大和川堤防上道路の拡幅整備については、国道25号(昭和橋)の拡幅や、沿道への支障および取付道路の勾配や出入りの問題などが生じることから、費用対効果を踏まえ大和川堤防上道路を拡幅整備することは出来ないと判断されています。</p>

【交通・移動手段関係】	町からの回答
<p>・きめ細やかに人が動ける交通手段が必要。やわらぎの手帳のバス、タクシーも使いにくくなっている。タクシーを呼んでもなかなか来ない。王寺は土地の高低差があり、東西の交通が不便。</p> <p>・近隣(香芝市や三郷町など)では、コミュニティバスやデマンドタクシーなどがある。王寺町でもきめ細やかな住民サービスをお願いしたい。足の確保・移動手段は元気の源である。</p> <p>・奈良交通の本数が減り、生活に不便を感じる。免許証返納が増えいていく中、各種補助だけでよいのか、デマンドタクシーが必要。</p> <p>・ライドシェアなどの取組みも考えてみては。</p> <p>・奈良交通のバスの便が減り移動手段に困る。(太子地区)文化福祉センターに行くにも、バスで王寺にでて、王寺から文福へ往復400円。昼間は循環バスもない。町の循環バスを1時間に1本でも走らせてほしい。</p> <p>・文化福祉センターの行事に参加したくても12時からバスがない。自分の住む地域からバス停に行くまでが大変な人もいる。</p> <p>・免許を返納して無料のバス券がもらえていたが、期間が設けられ75歳になると無料ではなくなる。返納後は75歳以降の方が利用する機会が多い。75歳までではなく、返納して数年間は無料ということはできないか</p> <p>・奈良交通やタクシー会社など、交通業者に先方のメリットになるようなことを提供することで、王寺町にも協力してもらおう。</p>	<p>・王寺町では高齢者の外出支援を目的にバスカード、イコカカード、タクシー優待券のいずれか希望されたものを交付する「やわらぎの手帳優遇措置事業」を継続されており、タクシー優待券を選択される方が年々増加しニーズが高いことから、令和5年度より1枚400円の優待券の交付枚数を1人あたり年間24枚から36枚に拡充されました。</p> <p>・王寺町はバス路線が充実していることから現時点ではコミュニティバスの整備は考えておらず、今後、民間のバス・タクシー会社の動向も見ながらオンデマンド化等公共交通のあり方について検討していくとのことです。</p> <p>・最近、公共交通機関であるバスの減便だけでなく、タクシーも必要な時に確保できないといった声をお聞きすることが多くなってきました。</p> <p>・そこで、議会の重点テーマとしてこの「外出支援(交通・移動手段)」を取り上げ、全議員12名でしっかりと現状の課題・分析を行い、他の市町村の先進事例も情報収集・研究しながら、王寺町に相応しい外出支援のあり方をまとめ、議会として町長へ提案してまいります。</p> <p>・町では、70歳以上の運転免許自主返納者に対して「運賃無料のバスカード」を交付しています。これまでは、交付を受けることができる期間を「自主返納された年度から無期限」としていましたが、令和5年度より、他の行政サービスとの公平性の観点から、「70歳から74歳までに自主返納された方は75歳に到達するまでの期間」に、また「75歳以上の方が自主返納された場合には1年度限りの交付」とされました。若い年齢で運転免許を自主返納する方へのインセンティブとしてのサービスですので、ご理解いただきたいとのことです。</p>

【お風呂】	町からの回答
<p>・さくら湯がなくなり、王寺北側に銭湯がなくなった。お風呂で困る住民がいる。片岡の家や文化福祉センターは遠く交通費もかかる。</p> <p>・片岡の家の風呂が、100円の料金を取り出してから利用者が減った。文化福祉センターの風呂も片方を男女交代で使用している。利用者減のため？交通の便が悪く、使いにくいのも原因ではないか</p>	<p>町からの回答</p> <p>・現在、新たに町営の浴場を開設することは考えておらず、片岡の家及び文化福祉センターまでのバス運賃については、75歳以上(令和6年度は74歳以上)の方であれば、「やわらぎの手帳優遇措置事業」において、他のサービスとの選択制ではあるが、「優待乗車バスカード(1回乗車につき自己負担100円)」の交付を受けることができるのでご利用いただきたいとのことです。</p> <p>・平成26年度より、町内にある民間浴場利用と合わせ、一部受益者負担として100円をいただいている。町営入浴施設2か所「片岡の家」と「老人福祉センター」の年間利用者数は、両施設合計で平成26年度(約9700人)～令和元年度(約5,300人)と減少傾向にあったが、令和5年度には、(約8,800人)と以前に戻りつつあり、憩いの場として、他の利用者との交流などで皆さん楽しい時間を過ごされているとのことです。また、受益者負担としての入浴利用料100円についても、入浴者の皆さんにご理解いただいているとのことです。</p>
【高齢者(外出支援を除く)】	町からの回答
<p>・住民が介護保険を活用できるように正しい知識を周知してほしい。</p> <p>・高齢者が救急車を必要としたとき緊急通報システムがあるが、もっと広報すべき。</p>	<p>町からの回答</p> <p>・介護保険に関する一般的事項については、町公式ホームページに掲載しており、介護保険で受けられるサービスについては、介護を受けるご本人の状態やご家族の状況等によりサービス内容を決めていくことから、より詳細なことをお聞きになりたい場合には福祉介護課窓口、もしくは相談業務委託先である「王寺在宅介護支援センター ハートランドしぎさん」「大和園 王寺在宅介護支援センター」にご相談いただきたいとのことです。</p> <p>・「緊急通報装置の貸与」については、王伸及び町公式ホームページにて案内しており、この事業は、ひとり暮らしの高齢者(身体の状態から安否確認が必要な方)に緊急通報装置を貸与するもので、令和6年度より「老老介護世帯」「高齢者と重度障がい者のみの世帯」も対象とされました。これを機会に、王伸への掲載回数を増やすとともに、また事業の性格上、ひとり暮らし高齢者の見守りをされている民生児童委員の皆さんや、介護サービスに携わるケアマネジャー及びサービス事業所にも周知しているとのことです。</p>
【障がい者】	町からの回答
<p>・障がい者にやさしいまちづくり。</p>	<p>町からの回答</p> <p>・令和6年3月策定の「王寺町障がい者計画(計画期間:令和6～11年度)」「王寺町障害福祉計画(計画期間:令和6～8年度)」に基づき、障がいのある人もない人も共に認め合える、自分らしくいきいきと暮らせるまちを目指すこととし、</p> <p>・障がい者の特性に応じた多様な方法による情報提供や意思疎通のための支援、地域活動支援センターを活用した相談支援や居場所づくりの推進、また、民間の「福祉サービス事業所を活用した地域生活支援拠点の整備を目指すこととされています。</p>

【子育て】	町からの回答
<p>・明石市の子育てや医療の取組みを王寺町の参考にしてほしい。</p>	<p>・王寺町の子育て支援施策については、在園第2子目以降の保育料無償化、雪丸サポートスクールや町学童保育所の2人目以降無料、インフルエンザ予防接種費用助成、ファミリー・サポート・センター事業、産前産後ヘルパー事業、義務教育学校の開校など、子育て環境の充実に取り組まれてきました。また、令和7年4月に定員90名の認定こども園が開園し、受け皿が確保できる目途が立ったことから、令和7年度より第2子目以降に係る保育料について、在園要件を撤廃し完全無償化されます。</p> <p>・さらに、子育て支援施策及び少子化対策に有効な施策について、国の動向等を注視しながら全庁的に調査研究を進めていくとともに、令和6年度は国の「こども大綱」や県の「子ども計画」を勘案した「王寺町こども計画」の策定を予定されており、学識経験者、保護者等で構成する「子ども・子育て会議」を開催し、令和6年2月に実施したニーズ調査等の分析結果も参考に、こども計画の中に反映していくとのことです。</p>
【防犯・防災関係】	町からの回答
<p>・わんわんパトロールの実態把握ができているのか。連絡会のメンバーが 自然減の中、メンバーを増やしていくためにどうするかなど考えられているか</p> <p>・近隣地域との話し合いの中で、防災やコミュニティの要素を兼ねた場所としての公民館を建てられないか。</p> <p>・地域防災計画は年に1回は見直しをすべきではないか。</p> <p>防災士のネットワークだけでよいのか、本気度が問われている。</p>	<p>・犬の散歩時に合わせて地域の見守り活動を行っていただいている「わんわんパトロール」のメンバーの方へ、毎月月末に義務教育学校の下校時刻及び下校ルートをメールで送信する際、簡単な聞き取りを行うなど現状把握に努め、メンバーの新規募集については、狂犬病集団予防接種会場で案内チラシを配布しているが、今後、町公式ホームページや広報誌等にも掲載するとのことです。</p> <p>・地域の公民館(自治会館)の建設については、自治会からの要望があれば規定の助成を行うこととされています。</p> <p>・なお、町内には地域交流センター、やわらぎ会館、王寺アリーナ、いずみスクエア、片岡の家や文化福祉センターなど住民の方の利用を目的とした公共施設があり、防災の拠点や地域コミュニティの育成としてもご利用いただくことが可能である。自治会の利用については利用料の減免も行っているとのことです。</p> <p>・地域防災計画の改訂については、奈良県の改訂にあわせて4年に1回行っている。令和7年度の改訂に向けて、奈良県の改訂内容に加え、本年元日に発生した能登半島地震対応の課題等を検証し、現在、担当課において改訂すべき箇所の確認作業を進めており、令和6～7年度にかけて防災会議を開催し計画の改訂を予定しているとのことです。</p>

【公共施設(道路を除く)】	町からの回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や公共施設の工事の進捗は、現地での張り紙などで掲示してほしい。(義務教、泉広)</li> <li>・久度の家の利用料について検討してもらいたい。高い。コミュニティの場として地域の人が使いにくい。</li> <li>・リーベル5階交流センターを拠点にしたイベント、展示会等を活発に。広域から参加してもらい、周りにアピールすることも大切。</li> <li>・図書館のエントランスホールは様々な掲示がされているが、貼っているだけでメッセージが伝わらない。暗くて見えづらく、せめて明るい展示場所にすべきでは。</li> <li>・wifiの充実、インターネットを無料で使えるなどは、町の魅力につながるのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現地には建設業法に基づき、工期等を掲示していますが、今後は、ご指摘のとおり、工事の進捗についても掲示されるとのことです。</li> <li>・他の公共施設に比べて低く設定しており、自治会など公益性のある活動については、使用料の減免制度もあるとのことです。</li> <li>・令和5年度に地域交流センターで行った鉄道イベントは、月間ではあったものの広域から1万人の集客があり、クイズ大会や、毎月の歴史リレー講座などを継続的に実施している。地域交流センターは利便性の高い立地から、地域の方々にイベントを含めた様々な使い方をしていただけるよう、電子申請での施設予約やクレジットカードでの使用料の支払い、主な部屋にはWi-Fi設備を導入するなど利便性を高め、その優位性のPRにより、賑わいを感じられる施設となるよう引き続き取り組んでいくとのことです。</li> <li>・イベントパンフレットやお知らせ等の掲示については、貼る位置やPOP表示を工夫するなど、より効果的な情報発信に努められており、また、図書館のエントランスホールの照明については、落ち着いた雰囲気醸成を目的から、全体的に照度を落とした設計となっているが、掲示場所については、ご指摘のとおり、より明るい場所へ移設されるとのことです。</li> <li>・公共施設等に無料で利用できる無線LANを提供されています。(JR王寺駅2階改札出口、王寺駅北バス停、王寺駅南バス停、王寺町役場1階、図書館、王寺アリーナ1階、地域交流センター、いずみスクエア、文化福祉センター1階、達磨寺、明神山頂)</li> </ul>
【まちづくり関係】	町からの回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民に寄り添うまち。郷土芸能・観光。</li> <li>・人を増やすこと、利益をあげることが大切。</li> <li>・子どもと若い人中心のまちづくりが大切。</li> <li>・企業の誘致はどう考えられているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明神山や達磨寺をはじめとする豊かな自然や歴史文化遺産等、町の観光資源を磨き上げることで、多くの人々が訪れるよう観光振興事業を引き続き推進、また、子どもや若い人をはじめ、あらゆる世代が交流できるイベントを開催し、賑わい創出、消費の拡大、経済の活性化につなげていくとのことです。</li> <li>・他の地域とも接続する幹線道路沿道で周辺環境との調和を図りつつ、商業施設・事業所の集積を図り、そのためには必要に応じて用途地域の見直しを実施するとのことです。</li> </ul>

【喫煙関係】	町からの回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・たばこの駅前喫煙所は狭いので、雨天の時はポイ捨てが多くなる。改善してほしい。</li> <li>・たばこを吸う人にお金をかけることはない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前の喫煙所の周囲を含め、たばこのポイ捨ての多い場所には、「ポイ捨て禁止」の貼紙等で注意喚起をされるとのことです。</li> <li>・駅前の喫煙所は、日本たばこ産業㈱が自らの費用により、備品調達から工事まで行い、設置されたとのこと。</li> </ul>
【議会関係】	町からの回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・このような機会がないと議員と話ができない。議員と話ができる場を作ってほしい。</li> <li>・議会自身が住民福祉の増進など住民の願いに取り組んでほしい。</li> <li>・分野別(スポーツ、文化活動、子育てなど)の懇談会、意見交換会の機会があってもよいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>これからも住民の皆さんとお話できる機会を工夫しながら設けますので、より多くの世代の方々から町へのご意見やご要望をお聞かせください。</u></li> <li>・<u>町内の各種団体、町民グループとの意見交換会を実施し、多様なご意見をお聴きして政策立案に活かしていきたいと考えています。</u></li> </ul>
【イベント関係】	町からの回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントに参加するだけでなく、主体的に関わるのが大切。「イベントに参加して終わり」になっていないか</li> <li>・ミルキーウェイ、イベント業者になげるのではなく、自治会のかかわりも大切では。内容の検証。目的にあっているか考えるべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントの開催は、地域の方が「集まる」ことによって地域の「つながり」や郷土愛の醸成を図るものであり、定住移住の促進や商工業の発展につながるものと考えており、ミルキーウェイなどのイベントに参加をしたい、また自治会等でも主体的にイベントを開催したいという要望があれば支援していくとのこと。</li> </ul>